

西宮中央運動公園及び中央体育館・陸上競技場等再整備事業

有識者座談会

－ディスカッション－

有識者	有識者 A (スポーツ科学／建築計画有識者) 有識者 B (建築学／建築計画／都市計画有識者) 有識者 C (政治学／行政学／都市計画有識者) 有識者 D (健康・スポーツ科学／スポーツ社会学有識者)
西宮市	コーディネーター スポーツ担当 公園担当 建築担当

コーディネーター

市のプレゼンとして、我々が考えてきた内容、事業者に伝えたい内容をご説明させて頂きました。

色々な調査結果を前提としてこの事業に取り組んでいるところですが、我々の理解がそもそも合っているのか、有識者の方から見たときにどうなのかについて議論させて頂きたいと思います。

D 先生にお伺いしたいのですが、コロナ禍の中、スポーツを取り巻く環境の変化について我々の理解は合っているのでしょうか。

有識者 D

With コロナというのか、After コロナというのか、これからの社会の変化を考えながら公園を整備していく必要があると思います。このような時期だからこそ、夢とか感動とか喜びとかを与えるスポーツは、心身の健康に不可欠なコンテンツです。その価値が再認識されている時期です。

政府の見解も徐々に With コロナへと方針が変わってきており、元に戻るのではなく、違ったスポーツの展開が現れてくるだろうと思います。その中で健康の二次被害を予防するスポーツが求められるのだろうなと思います。

公園やスポーツ施設の整備は、これからの西宮市民の健康、活性化につながる重要なポイントです。

コーディネーター

我々も街中にある本事業地では日常的にスポーツできることが重要と捉えており、事業者にはそのしかけを考えて欲しいとお伝えしていきたいのですが、注意点はありますでしょうか。

有識者 D

これからは個人でも、自由に、低価格で気軽にスポーツができる環境が求められていると思います。運動施設に一人で行ったら、そこに仲間がいる環境、これが充実していくとますます良いですね。

体育館も単なる貸館(団体貸し)から脱皮していけば、公園活性化にも繋がるのではないかと思います。今回の計画は良い方向に進んでいくのではないのでしょうか。

コーディネーター

本事業の方向性が間違っていないことを確認できて良かったです。

建築担当

コロナ禍をきっかけに、ジムや体育館でスポーツしていた人たちが屋外に出て運動するようになり、それが少しずつ定着していると感じています。

一人で公園に行けば、ラジオ体操などの気軽な運動が出来る集まりに参加できる、そして、それがコミュニティになっていくようなしなやかな本事業では描けるのではと思うのですが、いかがでしょうか。

有識者 D

正解だと思います。

ちなみに武庫川河川敷は多数の方がウォーキングやランニング、サイクリングをしていますね。大学の選手たちもそこで走ったり、競技をしています。

中央運動公園は街中の公園ですが、そういう場づくりをすれば、屋外で活動したい人たちが集まってくると思います。そういうことができる場所を求めていると思います。

建築担当

実は六湛寺公園にはラジオ体操のコミュニティがあるのですが、今の中央運動公園では少しやりにくい印象です。緑がある雰囲気の良い広い場所が求められているのではと感じています。

有識者 D

現在の中央運動公園にも広場が少しはあるのですが、広さが足りず、憩いの場って感覚ではないですね。

コーディネーター

C 先生にお伺いしたいのですが、客観的に見て西宮の魅力は何でしょうか。

有識者 C

都市の魅力度は高いと思います。

かつて阪神市構想もあったが、各都市に個性やこだわりがあり、まとまらなかった経緯があります。都市によっては固定化されたイメージがついてしまっています。固定化されたイメージはなかなか変えることは難しいです。西宮市には大学があり、山があり、甲子園があったりと、なんとなく良いイメージがあります。人口がどんどん増えてきたので、都市のバランスも上がっていると思います。

良いイメージがあるので、行政が大胆なことをしなくても良かったのです。目立つことがなかったよ

うに思います。恵まれた環境に甘えていたイメージがあります。

中央運動公園も良い場所にあり、本来地域のシンボルにならないといけないのですが、現在はさびれている状況がずっと続いていますよね。

コーディネーター

本市でも人口が減少していくことは明確であり、考えていかなければならない課題です。中央運動公園はなんとなくある良いイメージを、しなやかな場づくり、維持していくためのきっかけの一つになればと思っております。

建築担当

近隣市の大胆な取組みをみると焦ることがあります。うちの市では何をやっているのだろうか。

コーディネーター

恵まれ過ぎて、何をすればいいのか分からなかったのもあるかもしれません。

有識者 D

子育てしやすい市にするべきです。子供が集まり、新しい世帯が入って来る環境をつくれれば市が若返ります。高齢者ばかりではしんどくなるので、それを克服していくべきです。

コーディネーター

B 先生にお伺いします。西宮市の街、建物の印象はどうでしょうか。何か特色みたいなものがあれば教えていただきたいのですが。

有識者 B

西宮北口周辺は都会だなという印象を受けます。どちらかというとセンスがいい印象がある一方で、必ずしもそうではないものも残っている。阪神間モダニズムの建物も散見されるので、うまく活用していく必要があると思います。

一方で西宮には非常に恵まれた自然環境があります。山、川、海、しかも適度な平地がある。そういう環境の強みを活かす方法があるはず。ただし、残

念なのは山へのアクセスが非常に弱い。

建築担当

調査では、自然環境に関するスコアは平均よりも低く、市民からはそのように評価されていませんでした。西宮市は豊かな自然があるまちだと自負していただけない、非常にショックでした。

有識者 C

外部から見ると、北部と市街地は断絶しているイメージがあります。市街地に緑の大きな空間はないようなイメージです。

有識者 B

せっかく海があるのにマリンスポーツがあんまり意識されていないですね。堀江謙一さんが太平洋に旅立った西宮マリーナもあるにもかかわらず、あまり知られていない。もっと活用できるはずだと思います。

建築担当

計画地の立地を改めて見てみると、広田神社、関西学院大学、神戸女学院等のまとまった「まちなかのみどり」に意外と近いことが分かります。広田神社の方へ行くと夙川にも出ることができ、さらに夙川を北に上がっていくと、北山緑化植物園や甲山にもつながっていきます。どちらかというとも夙川や山手の雰囲気寄っていくのがいいのではと思っていたのですが、いかがでしょうか。

有識者 B

そうだと思います。

有識者 D

ただし、山手へのアクセスが本当に弱いですね。

有識者 C

実は関学に近いというイメージがありませんでした。大学生はスポーツで中央運動公園は使っているのでしょうか？

有識者 D

テニスコートはよく使っていますね。

スポーツ担当

陸上競技場はラクロス等で利用されています。体育館も利用されています。

有識者 C

大学ともっと積極的に交流すべきではないでしょうか。

コーディネーター

市からも積極的にいろいろと仕掛けていかないといけないと感じています。

このエリアの魅力を事業者はどう伝えればよいでしょうか。A先生にお伺いいたします。

有識者 A

よく神戸方面からロードバイクで走行したりするのですが、有馬、六甲を抜けてくる山側のルートも、最近では湾岸のルートもあるのですが、西宮は単なる通過点になってしまっています。市内に降りる良いルートがなくて、立ち寄りたくなる場所が少ないように思います。ルートとして選択はされていますので、立ち寄りたくなる拠点化された休憩場所等があれば使いやすくなると思います。

コーディネーター

市民の利用に焦点を当てて考えてきたのですが、拠点化されていけば、市外の方にも利用してもらえる施設となる可能性があるんですね。

有識者 A

事業の柱はいくつかあり、市外からの利用者も一つだと思います。

千里の公園の取組のように、みんなで集まって使う視点も非常に重要です。

第3次スポーツ基本計画では、「する・みる・ささえる」に加えて、①スポーツを「つくる／はぐくむ」、②「あつまり」、スポーツを「ともに」行い、「つながり」を感じる、③スポーツに「誰もがアクセスできる」

という新たな視点が入っており、スポーツの価値をインクルーシブ的な考え方に寄せてきています。インクルーシブ公園と運動施設がつながることで、公園で遊んでいる子供達が運動施設でスポーツをしているお兄さん達を見て、興味を持ってスポーツする子供達が増えていくというストーリー作りは、考え方としてはそれに沿っていると思います。

ただし、インクルーシブをみんなで考えるにあたり、やり方には注意が必要です。単発で終わるようなやり方だと非常にまずいです。常に誰かとともにあり続けるためには、常に一緒に模索し、つくり続けなれないといけないです。そうすると、運営や管理者が子供の意見を聴きながらつくり上げるインクルーシブ公園の原型と言われるプレイパークのような形になるのですが、変化し続ける器が必要になります。

プレイパークというのは遊びがベースになるのですが、遊びの中から身体能力を発掘された子供たちが、隣にあるスポーツ施設でスポーツをし始める、遊びからスポーツにつながるパスが出来るともっとおもしろくなると思います。

更に付け加えると、ハードルも高いので事業者提案となってしまうとは思いますが、データを取って客観的に評価する屋外版のスポーツ医科学的な機能が兼ね備えられていても良いのではないかと思います。

地域コミュニティの形成が上手くできていないのは最大の問題だと思います。公園をつくることをきっかけに色んな人がかかわる、関わりしろをつくるのはとても大切だと思います。ただし、関わりしろづくりを事業者任せにすると、事業者が撤退したとたんにコミュニティが消滅する可能性がありますし、事業者のハードルが上がってしまいます。事業者に運営期間内になんとか頑張ってもらい、そのコミュニティの土台を市が頂戴するというやり方もあると思いますが、市が事業の土台としてコミュニティを最初につくると事業者のハードルは下がります。

事業者にどこまで任せるかは議論のしどころだと思います。

有識者 C

整備・運営・引き渡し後の各段階での市民参画の視

点が評価基準にも組み込むべきであることは前回から申し上げていますが、コミュニティの土台づくりの視点は入っているのでしょうか。

公園担当

現状の評価基準には、市民協働の土台づくりのプロセスまでは、記載していません。

有識者 C

評価をしてあげないと、事業者はなかなかやる気がでないの、建物を建てるだけになってしまいます。

公園担当

中央運動公園の周辺には自治会はあるけれども、夏祭り等イベントがないという状況で合っているか？

公園担当 2

NPO団体など市域全体をターゲットにしたイベントは、市役所に近い六湛寺公園が中心となっています。それぞれの地域団体だと、高齢者はラジオ体操・ゲートボール、校区の子どもたちが集まる場としては遊具広場のみで、その他は正直ないです。これが、市民運動場から発展した公園という経緯・現状であると思います。

有識者 A

私はその点がすごく良いところだと思っています。みんなでつくっていきましょうという共創のプロセスで課題になるのは、内輪感です。初期メンバーが囲い込んでしまったとたんに、みんなが参加できなくなります。今後も選ばれる市であるためには、新たな若い夫婦が来た時に、気楽にそこに参加できる仕組みが必要です。内輪感をつくらないのが重要で、コミュニティが今無いのはむしろ良いのではないかと思います。

コーディネーター

20年間の運営だと内輪感が出てくる危惧がある、ということですね。

有識者 A

みんなで作くり続けるということが重要です。「昨年を踏襲します」となったとたんにおかしくなってきました。常に新しくみんなの意見を聞きながら、「つくって、つぶす」のサイクル化が出来ると思います。

有識者 D

山形の事例のコバルは、雪国だから、室外で運動するのではなくて、室内で運動できるような環境をつくっているのだと思います。私の夢ですが、雨が降っても外の感覚で遊べる場所が欲しいです。雨が降っても遊べる場所、そういう公園だといいなと思います。

有識者 A

大分県にヨコミゾマコトさんが設計した祝祭広場は大きな可動式の屋根だけが駅前にある。その使い方などもすごくおもしろいです。

公園担当

お金を払って室内で遊ぶ施設が増えてきています。そうではなくて、誰でも室内（屋根があるところ）で遊べるということが実現できればいいなあということでしょうか。

有識者 D

そうそう、オープンな施設がいいですね。

有識者 A

市民評価の中に子育ての分野があったと思いますが、お金がかからずに子供を遊ばせることができる施設というのは結構重要だと思います。

コーディネーター

スポーツと公園をつなぐという施設の事例をいくつか紹介しました。

有識者 C

最終的に緑地面積はどれくらい取れるのでしょうか。

公園担当

市の検証では20%以上を一定の目標としています。必要な建物や運動施設を配置していくと、50~55%を運動施設率で敷地を使っており、他の余白のスペースは、駐車場もありますが、より多くの緑地を確保して欲しいところです。

有識者 B

駐車場も上手く木を植えれば、例えば足元は幹だけで上部に枝があるような木にすれば、十分に（体感的な）緑地になります。

コーディネーター

エントランス広場などが南池袋公園のような広い広場になれば、活動もしやすいかなと想像しているところです。「体育館と陸上競技場に圧迫されるような風景は避けたい。公園という印象を最大限発揮したい。」というところが、「ランドスケープに配慮した」という記載表現の意図の一つです。

建築担当

今の施設では、体育館と競技場は個別でどんと鎮座していて、壁に囲まれており中で何をしているのかが良く分からない。体育館もプレイ中の光の問題もあって閉じているのだと思いますが、密室感があって仲間内で何かをしているという印象がすごく強いです。

有識者 B

観客席があって、器具庫とかがあるとどうしても閉鎖的になってしまうところがあります。なかなか難しいと思いますが、ご提示いただいた松本平の事例のように、全部スカスカに開いた計画に出来るのであれば良いと思います。

有識者 D

どんな図面をかいてくるかは事業者次第でしょうけど、例えば陸上競技場については、北側にスタンドとか倉庫を配置して、南の公園側に対しては開く、北側のスタンドへはこう配を付けてスロープでアクセ

スする、っていうのはありえるかもしれないです。公園の真ん中に観客席とか倉庫がくるとどうしても閉鎖的になってしまいますね。ただ、管理はしにくい、どう管理するかですね。

有識者 A

川崎にある富士通スタジアム川崎(旧川崎球場)は、アメフト用に改修されたところですが、観覧席の下は全部ピロティの通々です。控室があるわけではなくて人工芝が敷かれており、その下で選手達はアップしたり、雨の日は練習も出来ます。

コーディネーター

今回の変更点としては、陸上競技場のその他観覧スペースについて、法面にしていたところを平面のウォーミングアップ兼観覧スペースとして計画しています。選手がウォーミングアップで使いやすいようにしたということが「する」スポーツの強化と考えています。

有識者 A

D 先生へ。私もスタジアムを設計している身として、そんなに観客席規模が大きいのだったら、1か所に集めると高さが高くなるので、コートにあわせてもっと広くして、段数そのものを減らした方がいいのではとも考えるのですが。でも、真ん中の席が取り合いになるんでしょうけど。

有識者 D

そうそう、観る方は真ん中が良いですね。

有識者 B

でも更衣室もこのスタンドの下に入れようとしているのですよね。

有識者 A

松本平では、更衣室を別棟にしていますね。

有識者 A・有識者 B

そういうやり方も無くは無いですね。

スポーツ担当

要求水準書でも陸上競技場の配置は限定していません。メインスタンド観覧席については1000人程度収容という書き方にしていますので、配置は事業者の提案によるものとしています。

コーディネーター

施工手順として、現在の体育館は運営した状態で新体育館を整備することが必須条件になっています。そのため、新体育館は東側に寄らざるを得ないです。

陸上競技場については、東西軸の陸上競技場は例としてはあまりないですが、本事業において制限は設けておりません。施工手順としては、東西軸の方が施工は早く終わりそうですが、南北軸も不可とはしていないので、そこは事業者がどこを重視する提案かによるところだと考えています。

建築担当

ウォーミングアップ兼観覧スペースについてですが、運営上の管理しやすさと利用者のスポーツへの入って行きやすさを考えたときに、どこで囲うか、はたまた囲わないのかがとても難しい問題だと思っています。

有識者 D

「何かやっているね」というのが見えた方が良いです。だけど、管理をする観点では、そういう一般の人がヒールとかでトラックを歩かれては困ってしまいます。

スポーツ担当

維持管理上、陸上競技場は夜間閉鎖する必要があると思っています。ただ、平日の予約が入っていない時間帯では、もしかすると侵入防止柵を取り外しできるような運営にして、公園利用者に開放するような時間にあてるのもありだと思います。

建築担当

今の要求水準書で、陸上競技場の侵入防止柵は「運営上支障がない限り、移動可能なものとしても良い」という書き方にしています。

有識者 D

なるほど、この時間帯はここからここまではオープンよ、とフレキシブルに設定できるようにね。

公園担当

この点では事務局として議論を重ねてきたつもりです。公園としては地区公園というまちなかの公園になるが、スポーツ施設としては結構盛りだくさんの施設になり面積も大きいです。施設の圧迫感もあります。ただ、こういった新たな5項目のテーマも掲げたので、公園としてはゆとりあるオープンスペースも欲しいです。そのあたりの両立・兼ね合いが、体育館・陸上競技場をつくるうえで、事業者の工夫がかなり重要になってくると感じています。

これをはたしてどこまで伝えることができるのだろうというのが大きなテーマと感じています。

コーディネーター

松本平の事例で同じような課題があったと思いますが、行政側で何か工夫というか、しかけはありましたでしょうか。

有識者 A

計画段階で、設計者側に「地元の競技団体とか利用者も含めたタウンミーティングを行いなさい」という条件が入っていました。壁のないような陸上競技場なので、まず「運営できるのか」みたいな反対意見がありました。しかし、個別の具体的な課題に対して細かい対話をやっていく中で、全体像をみて徐々にクリアできていったという経緯があります。

しかも、行政側が、その過程を全部オープンにしているのです。例えば、担当者レベルの実施設計の打合せも、そのときの資料が即日アップされる。スケッチもアップされる。過程が全て追えるようになっていきます。タウンミーティングの様子も youtube に生放送でアップされていました。

建築担当

この間も学校の事業で、審査風景が生中継されていました。そういう開かれた場では前向きな意見が

優先されていくので、そんなやり方もあるのかと、とても感心しました。

有識者 A

透明性の担保が、実は参加しやすさ・参画しやすい体制にそのままつながると思います。意見を言いやすくなるということも含めて、どこかで誰かが決めているのではなく、自分が決めなければならないという意識をどうやって作るか、っていうイメージに近いです。

部活動の教員も参加されていて、もしウチが使うならばこれ採用してもらえれば使えるなあといった意見も出て、それは出来てから考えてよという話かもしれないですが、最初からそのような意見を聞き、採用していくと、みんなやる気が出るんですね。

コーディネーター

ファンを増やすために、「運営をこうします、だからこういう施設にするんです」という流れにしたいと思っています。運営を強くストーリー立ててないと、考えと一致しないものが出来てしまう。もちろんフレキシブルさは必要で、考えありきで、市民に対してこう使ってくれということは乱暴なので、コミュニケーションは重要だと思っています。これらを踏まえて施設整備の過程を歩んでいきたいと思っているのですが、どう市も入りながらやっていけばよいのかが、まだ具体的に思い描けていないです。

有識者 A

PFI 事業の関係で運営に関わる事業者と話をしていると、自由提案になればなるほど、結局自分たちで全部担保しないとイケないので、結構しんどいと言われます。

市で、「こんな民間の地域の団体があるけれども、これを上手く回す方法ありませんか」とか、「もし提案がなければ、市で色々考えながらイベントとかやってもいいよ」と発信すれば、事業者の方で実施する場所だけ請負い、上手くいけば、地域の団体を巻き込んだ運営の仕方も考えてくれる、ということがあるかもしれません。その切り込みかた（プロセス）を提案させ、評価をするやりかたはあるのかなと思います。

ます。

人集めのところは地域の方々と連携しないと難しいので、そこは市がケアできると、運営側はすごく助かると思います。

有識者 D

中学生・高校生も、相当、中央運動公園を使用する機会は多いと思います。そうすると、「する」スポーツを中心に、市民目線であるいは「市民みんなでスポーツ施設をつくるんだ」という感覚、それを植付けないといけないと思います。先生方は利用する側として、こんなことがしたい、こんなことに使える場所を作って欲しいという強い思いがあると思うので、それを聴いてあげるべきです。簡単に ZOOM 等で会議できるし、わりと市民は入ってくるのではないのでしょうか。

コーディネーター

その視点で、DX 化の視点もあります。簡単なところで言えば、ネット上で駐車場の満空車状況がわかるとか、利用目線でのそういったデジタルサービスの提案はあると思いますか。

有識者 A

たくさんあると思いますが、市の市民サービスと連携していることが重要です。

例えば、この公園に来るまでのアクセスの話は、この敷地の中では完結できないです。市で交通関係に関するデータの共有を、これらの施設と紐づけながらやる必要があります。浜甲子園運動のスポーツ施設の紹介がありましたが、今回の事業に合わせて、市内のスポーツ施設同士の連携は必須だと思います。この一施設で何か完結できる話ではなくなるように思います。

むしろこれが実現することによって、住み分けであったりだとか・位置づけであったりだとか、予約のシステムも含めてどうするのかを考えたほうが良いと思います。そこに加わることが出来るということが事業者にとって魅力に映るかもしれません。

可能性としては、中央運動公園の施設外にも拡がりを持たせた方が良いと思います。

有識者 B

市内スポーツ施設の運営が連携していないと難しいですね。

有識者 D

その視点からいうと、中央運動公園に 5 面のテニスコートは必要ですか。浜甲子園運動公園には 13 面もあって閑散としていますよね。

スポーツ担当

中央運動公園のテニスコートは、利用率がとても高いです。街中にあることの強みが出ています。

有識者 D

テニスコートは 1 面当たり多くて 4 人の利用でしかありません。このスペースで 4 人だけ。ということは、例えばここにプールを作った方がずっと稼働率が高いわけです。プールは子ども達も使えますしね。中央運動公園にテニスコートは必要なのかもしれないが、テニスはコートが 13 面ある浜甲子園運動に行ってください、と誘導するやり方もあると思います。

有識者 A

ここで市民運動場としての歴史が培われてきたことは、おいそれと置いていけない話だと思います。形には見えてきませんが、市民が集まって運動するという文化がずっとあるはずで、それが急にガラッと変わると、変なことになると思います。2000 年代にオランダで内陸のスキポール空港を海側に移転させるという計画があったのですが、交通網が全て内陸に向かって発展していたので、物流がうまくいかないんですね。移転跡の空き地に物流拠点を整備して、直通の高速道路を新空港につなげようという案も一時ありました。結局実現はしていませんが、先ほどテニスコートは他所でという話がありましたが、例えば、中央運動公園と浜甲子園運動公園を直通のシャトルバスでつなぐ等の相互連携はあり得るのではと思いました。ここまでくると、PFI の範囲なのか、市の事業の範囲なのかと難しいのですが、そこを上手く出来ると元々達成すべき施設の在り方

に近づくのではないかと思います。

建ぺい率は結構ギリギリでしょうか。

公園担当

都市公園法上の建ぺい率は、条例改正を行い、特例部分を加えた上で上限 20%としています。事業者の提案余地を考慮した上で条例改正をしています。

有識者 C

緑化率の制限はどうでしょうか。法上の運動公園としていないので意外と自由なのではと思ったのですが。

公園担当

緑の政策大綱では努力目標を 50%としているのですが、現実的ではありません。20%以上を要求水準書では一定の目標としています。

有識者 C

公園と言いながら緑地が少ないイメージです。

コーディネーター

そういうところも解消したいので、限りがある中で、より効果的に確保できるようなランドスケープの計画がとても重要だと考えています。

有識者 D

少し話が変わるのですが、敷地北東角に駐車場と出入口を想定されていますが、東側の道路は一方通行だったと思います。詰まりませんかでしょうか。

建築担当

すぐ近くに橋はあるものの、東川を挟んでの一方通行です。

スポーツ担当

実際はどのような計画になるかは分かりませんが、東側の駐車場は関係者等の限られた利用を想定しており、一般利用はメインの西側駐車場になります。

公園担当

道路管理者からも東側出入口をメインとして利用するのは不可と指導を受けています。

有識者 D

敷地の廻りも全部走れると良いんですね。坂もあったりして。

建築担当

先ほども話に上った敷地東側の道路ですが、実は並走する東川は水と緑の軸として位置づけられています。しかし、現況はとてもそのような設えではなく、敷地の裏という印象しかありません。

コーディネーター

運営について伺います。「甲子園スタイル」の取り組みについて、経緯等ご存知であれば、教えていただけませんかでしょうか。

有識者 B

そもそも内閣府の地方創生の補助金を、甲子園をスポーツをテーマに活性化しましょうと、西宮市が取得したことに始まります。その補助金にプラスして、阪神電鉄、三井不動産、武庫川女子大学が資金を出し合って「スポーツを核とした甲子園エリア活性化推進協議会」をつくっています。市南側の事業者が集まっているので甲子園エリアに限定しているのですが、西宮のスポーツが活性化するように、スポーツイベントの運営が出来る人やコーチが出来る人を育てましょうとスポーツアカデミーを実施しているのが一つです。あとは甲子園球場を使っただけのキッズラン、ららぽーと甲子園の駐車場を使っただけの 3×3 等のイベントを実施しています。

コーディネーター

中央運動公園でも同じようなスキームを組むことは可能でしょうか。補助金だけでは足りないでしょうか。

有識者 B

資金の計画は協議会で決めているので良く分かりませんが、甲子園スタイルと連携してイベントを実

施することはあり得るかもしれません。

コーディネーター

甲子園スタイルの出張イベントとしてでしょうか。

有識者 B

中央運動公園で大きなイベントが出来るよという
ようなことになれば、あり得ると思います。

コーディネーター

新たに立ち上げるのは、やはり難しいのでしょうか。

有識者 B

新たに立ち上げるとなると原資が問題ですね。

有識者 A

西宮ストークスがホームアリーナを移転した後の
中央体育館や西宮に残る多くのブースターのあり方
等についても、企業も入れての事業者交流会という
形で協議会では話し合ったりしています。こういった
問題はどちらかという西宮全域の課題ですので、
連携するのは問題ないのではないのでしょうか。

コーディネーター

そろそろお時間になりましたので、最後に我々が
目指しているイメージについてひと事ずついただけ
ませんかでしょうか。

有識者 B

先ほども議論があったように、西宮市内のスポー
ツ施設とどう連携するのかが課題の一つです。一方
で、小中学校では徐々にチームをつくるスポーツの
クラブ活動ができなくなっています。先生方に負担
をかけないという流れの中で、指導者がいなくなっ
てきています。子供たちのスポーツを指導できる人
を育てるのも中央運動公園の役割だと思います。

有識者 D

スポーツが様変わりしていこうという中で、その
あり方を考えるのであれば、一つはオンライン上で

スポーツを習ったり、観戦して選手に対して投げ銭
が出来るような双方向の状況、あるいは、パーソナ
ライズ化して能力に合わせた運動指導をしてもらえ
たり出来る状況をつくり出すことだと思います。

西宮市自身も、スポーツ推進計画に載っているよ
うに、課題はあります。スポーツをすることの減少を
どうするのか、健康増進、楽しみのためのスポーツの
政策をどうするのか、だれかと一緒にしないといけ
ないのではなくて、自由な時間に気軽に行えるスポ
ーツプログラムの提供と充実を図っていく等の課題
があると思います。その課題を一つずつ消してい
かないといけません。5年スパンでの計画になりま
すが、その中でも良いものはどんどん展開してい
き、悪いものは外していく必要があります。最終的
にはスポーツを通じた地域の活性化、共生社会の実
現があるかと思っています。

もう一つ問題があるのが、地域スポーツの中心と
ならなければいけないスポーツクラブ21の高齢化
です。そこを改善して、良い指導者がいて、子供が
集まり、大人も集まってくる状態というのが望ま
しい姿ですので、西宮市全体で取り組むべき課題
だと思います。

有識者 C

私から言えることとしては、事業の計画、建設、引
き渡し後の運営の各フェーズにおいて、利用者や地
域の住民が何らかの形で参画できる仕組みを組み
込むことです。公園は、人々がそこで様々な活動
をしたり、おしゃべりも含めて交流をするための
公共空間ですので、また、スポーツのボリュームが
大きいので、その関係者の参画も当然必要です。そ
して継続して参画できる仕組みであるべきです。こ
の点に関して一番期待しています。

有識者 A

第3次スポーツ基本計画の中で言われている「つ
くる」スポーツが、誰もがアクセス出来るという
ことに繋がると思います。それと合わせてスポーツ
庁が進めている「Sport in Life」というプロ
ジェクトがあります。いわゆる生活の中で体を動か
すといったようなことも広義のスポーツとして捉
えられないか、という話です。これはこれでとて
も面白い取り組み

なのですが、私自身は課題も感じています。生活の中で体を動かすことと競技スポーツが切り離されているというか、そこへの接続があまり気を払われていないように感じています。競技スポーツ推進の方針をこれまでとあまり変えていないのです。このことは未来に課題を残してしまうと思います。そこを読み解く方策のうちの一つに公園があると思います。みんなで集まって、みんなで使えて、生活の中でスポーツがあり、事務局説明の中にあっただようなお兄さん、お姉さんがスポーツをしている姿に触れていくようなこともある。そういったストーリーが必要だと思います。そこの繋がりが上手く出来れば、10年後、20年後、それこそ30年後、西宮のスポーツがとて強くなっているかもしれません。紐解けば、実は子供のころから生活からスポーツへの繋がりストーリーを市として大事にきたんですよ、というような話が出来るととてもすてきだと思います。

ぜひスポーツへの繋がりを意識した良い公園づくりをしていただければと思っています。

コーディネーター

非常に盛りだくさんのご意見をいただきました。事務局で整理をして事業に活かしていきたいと考えております。本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。